



令和2年度 横浜市立宮谷小学校 学校だより 4月号

みやがや

<学校教育目標>

響き合う豊かな学びの中で自分を見つめ互いに思いやる子を育てます

【知】 学び合う楽しさを知り、問題解決に向け主体的に取り組む子を育てます。【学び合い】

【徳】 社会や学校のきまりを守り、やさしく思いやりのある子を育てます。【思い合い】

【体】 お互いの生命と体を大切にし、生涯を通してよりよく健康な生活ができる子を育てます。【気づき合い】

【公・開】 さまざまな人々と豊かなかかわり合いを大切にしなが、わたしたちのまちに誇りをもって生活する子を育てます。

【かかわり合い】

【かかわり合い】

「新年度への思い」

学校長 小宮 寛之

コロナウイルス感染拡大防止のための休校が続く中、本校112回目の卒業式が3月19日に行われました。事前の練習等がほとんどできない状況での式となりましたが、さすがに、歴史と伝統ある宮谷小学校の6年生、とても立派に、そして堂々と卒業証書を受け取り、6年間の思いを詩にのせて、中学に巣立っていきました。私は、「ピンチをチャンスに」変える発想をもち、目標をもった中学校生活を送ってほしい、そして、お世話になった方々への感謝の気持ちを伝えてほしいとの願いを込めたメッセージと後藤静香さんの「本気」という詩を卒業生に贈りました。

「本気」

本気ですれば たいいな事はできる
本気でしていると だれかが助けてくれる
本気で働いているものは

本気ですれば なんでも面白い
人間(ひと)を幸福(しあわせ)にするために
みんな幸福(しあわせ)で みんなえらい

後藤静香

そして、昨日4月6日入学式、本日7日始業式を迎えました。コロナウイルスの脅威が続く中、明日からの休校を余儀なくされ、先が見通せない中での令和2年度のスタートとなりました。感染の拡大が一日も早く収まり、学校が再開できることを願わずにはいられません。御心配をおかけいたしますが、保護者の皆様、地域の皆様との連携をより一層強化して、この難局を乗り越えていきたいと思っております。御協力をお願いいたします。

「学校で友達と会える」「教室でおしゃべりができる」「先生と一緒に勉強ができる」等々、当たり前だと思っていた日常の学校生活が、どれほど尊いことであるのかを改めて強く感じているとともに、チーム宮谷小、信頼を積み重ねて多くの成果を实らせる「信実」の1年にするため「ピンチをチャンスに」変える発想とどんな時も心の豊かさ、人と人とのつながり、人のこころを大切にして、一丸となって取り組んでいくことへの気持ちも例年以上に強くしています。

令和2年度も学校・保護者の皆様・地域の皆様、子どもたちを温かく包み、育む環境づくりに、御理解と御支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。